取扱説明書

M形埋込み形照明器具･高調波ガイドライン適合品

保管用

yamada

蛍光灯ダウンライト

（600グリッド・システム天井専用・一般屋内用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品 名	適合ランプ	最大送り容量	適合電線	使用電圧
DF-2962	ｺﾝﾊﾟｸﾄ蛍光ﾗﾝﾌﾟ FHP 45 W x 2灯	15A	VVFｹｰﾌﾞﾙ φ1.6/2.0	(FHP45W) AC100-242V
DM-2963	ｺﾝﾊﾟｸﾄ蛍光ﾗﾝﾌﾟ FHP 45 W x 2灯 + JDR35W x 2灯			(JDR35W) AC100V

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

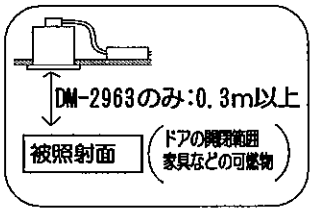
⚠警告

❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

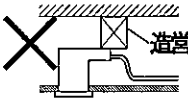
❗ 電源の送り容量は最大１５Ａです。必ず１５Ａ以内で使用してください。
★最大容量を越えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

❗ 端子台に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 器具の開口面と照射する物（被照射面）との距離は0.3m以上離して設置してください。
★被照射物の変形や、焼損事故の原因となります。



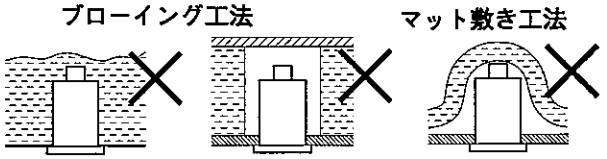
❗ 器具の取り付け部以外の外郭（可動範囲含む）が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備に触れないように施工してください。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。



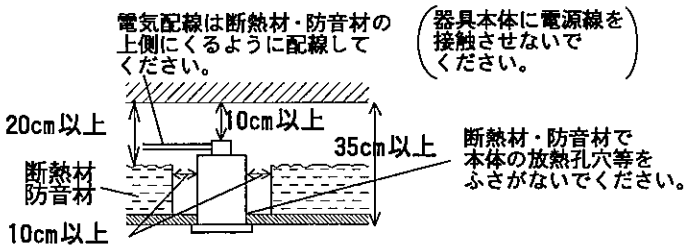
⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 600グリッドシステム天井専用です。壁面など天井以外の場所や傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による熱損事故の原因となります。

住宅の断熱施工天井には使用できません。
★ブローイング工法･マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。

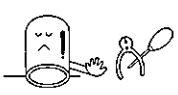


―住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法―



⃠ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。



⚠注意

❗ 必ずインバータの定格電圧を確認のうえ、適合電圧で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
高い電圧で使用すると、不点灯やチラツキなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃で使用してください。
★過熱して発煙や火災の原因となることがあります。

⃠ 蛍光ランプは調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯や、調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

⚠警告

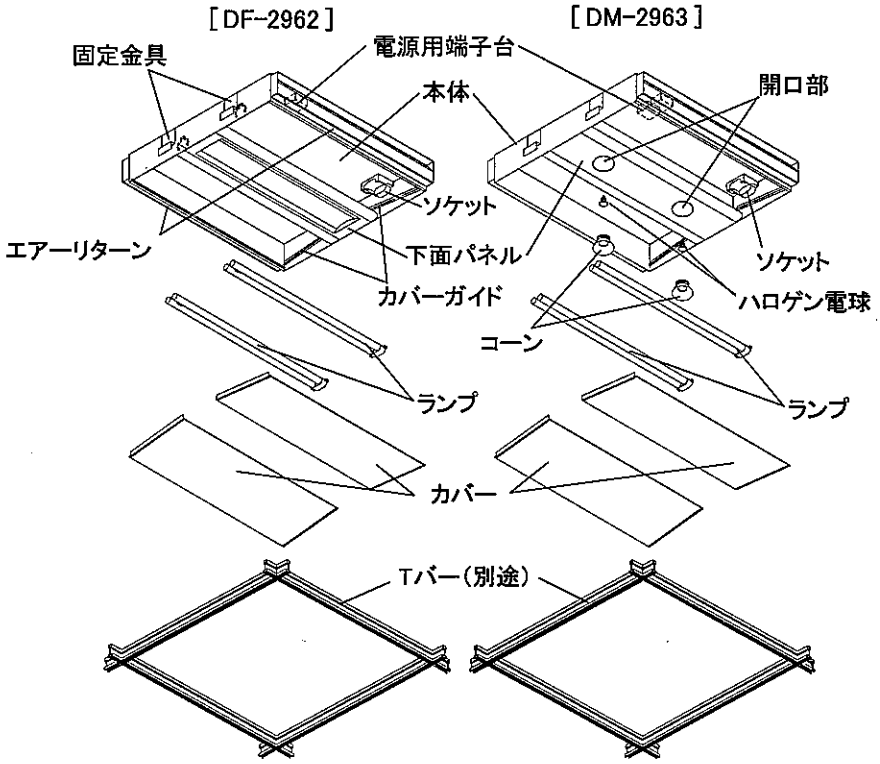
- 必ず指定されたランプを使用してください。
  ★不適合なランプを使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
  そのまま無理に使用を続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。
- 濡れた手で触らないでください。
  ★感電の原因となります。
- 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
  ★火災や感電事故の原因となります。
- 器具の下面を布などで覆わないでください。
  ★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
  ★感電事故の原因となります。

⚠注意

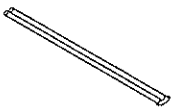
- 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
  ★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
  ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
  ★カバーの破損、落下の原因となります。
- 点灯中や消灯直後の電球、器具内には触らないでください。
  ★火傷の原因となります。
- ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
  ★雑音や誤動作の原因となります。

各部の名称 (説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付 属 品】


ランプ (同梱):
FHP45W・・・・2本

ランプ (同梱):
(DM-2963 のみ) JDR35W/K3
・・・2個

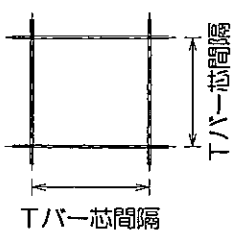
取扱説明書 (本書)
・・・・・1枚

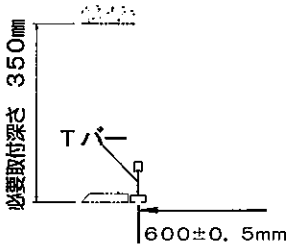
保証とアフターサービス
について ・・・・・1枚

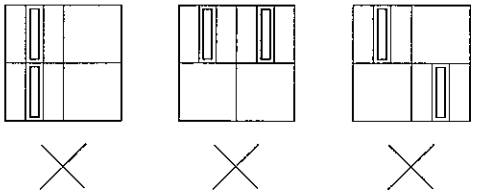
取り付け場所の確認

●器具を取り付ける前に

1. Tバー芯間隔が図の様に600±0.5mmである事を確認して下さい。
2. 固定金具がTバー形状に対応した寸法になっている事を確認の上取付けてください。
   寸法の対応していない固定金具では落下の原因になります。
3. 器具同士を隣接させないで下さい。(縦・横・斜め共に不可)
   Tバーの許容荷重超過による落下の原因となります。
4. 本体の取付には天井面より350mmの深さが必要になります。







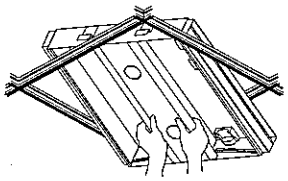
取り付け方　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

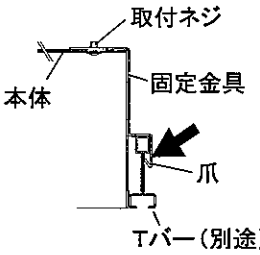
⚠警告❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

● 取り付けの際は、器具はあらかじめ本体・コーンに分割しておいてください。

1. 本体をTバーに落とし込んでください。

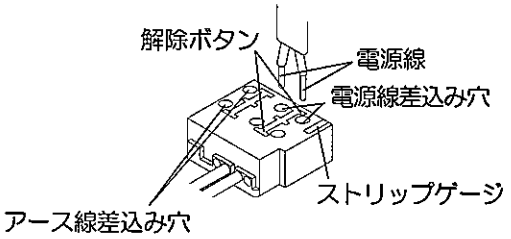
本体を図の様に斜めに入れ、4辺がTバーに沿うように位置を合わせてください。
固定は固定金具によりワンタッチで行なわれますので、爪がTバーの首下まで来るように確実に落とし込んでください。





2. 電源線を接続します。

①電源線を電源用端子台のゲージ（12㎜）に合わせ剥きます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※DM-2963はランプの種類別に電源線を端子台に差込んで下さい。
※電源線をはずす場合は、解除ボタンにマイナスドライバー等を押し当て真っ直ぐ押し電線を引張ってください。
③アース線を差し込み穴に差し込みます。



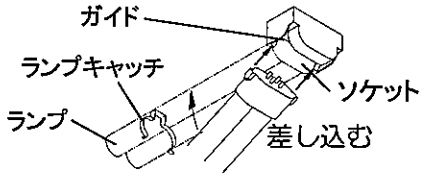
⚠警告

❗ 器具にはD種接地工事を行ってください。
★アースが不完全な場合は、火災や感電事故の原因となります。

❗ 端子に差し込むケーブルは、必ずVVFΦ1．6またはΦ2．0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲った芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

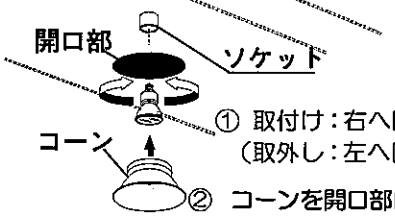
3. ランプをセットします。

ソケットに口金部を差込み、ランプキャッチに固定してください。



⚠注意❗ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

[DM-2963のみ　ハロゲン電球：E11JDR35W/K3]
①ランプを開口部のソケット口金にあわせねじ込みます。
②コーンを差込み、バネに確実に固定してください。



4. カバーをセットします。

①カバーを下面パネル側より差し込みます。
（落下防止爪の無い側を差込んで下さい）
②カバーを押し上げます。
③カバーを逆に滑らせ、落下防止爪が本体内枠に引っ掛かる様にして静かに下ろします。

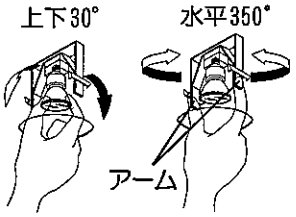
⚠注意

❗ カバーが手から滑り落ちないよう、取り扱いには十分注意してください。
★落下させ「けが」や器具破損の原因となります。

⃠ カバー着脱の際は強く押したり、曲げたりしないでください。
★外れて落下する恐れがあります。

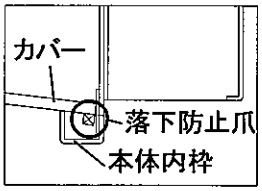
照射方向を調整します。

-上下方向の調整-
ランプをつかみ照射角度を調節します。
-水平方向の調整-
アーム先端を親指と人差し指で押し、左右に回転させ調整します。

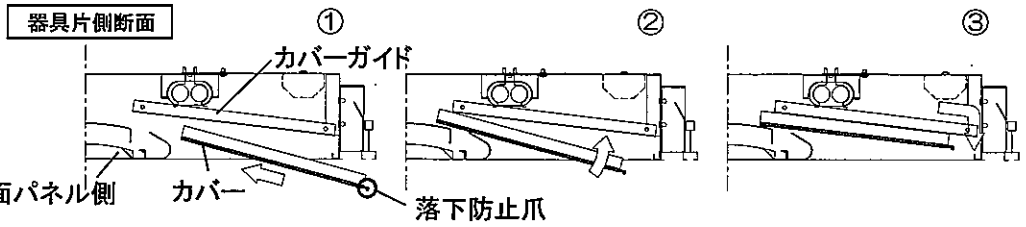


⚠注意

❗ **点灯中は高温となり火傷の原因となりますので手袋（布製）等をご使用の上、調整してください。**
❗ 照射角度調節中にランプ・アームが止まったら、調節角度の限界です。
それ以上無理に回さないでください。
ランプを破損する恐れがあります。

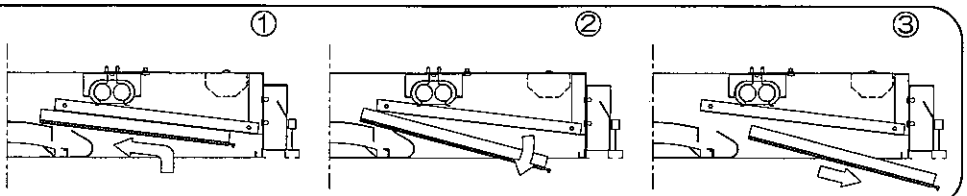


カバーセット済み状態



カバーの取外し方

①カバーを軽く押し上げながら下面パネル側へスライドさせます。
②カバーの落下防止爪側を引き下げます。
③静かにカバーを引き抜きます。



スイッチ操作

壁スイッチにて「ON－OFF」操作を行います。

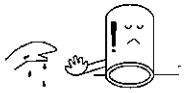
お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を　：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**



●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

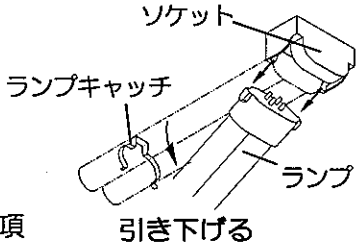
1. スイッチを切ります。

2. カバーをはずします。

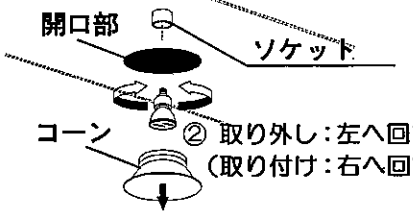
『●取り付け方』「4. カバーをセットします。」の項をご参照ください。

3. ランプを交換します。

ランプを右上図の様にソケットからはずします。



[DM-2963 のみ　電球：JDR35W/K3]



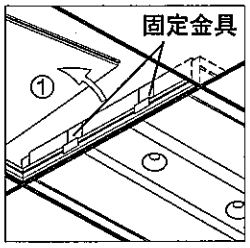
⚠注意 ❗ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「けが」をする恐れがあります。

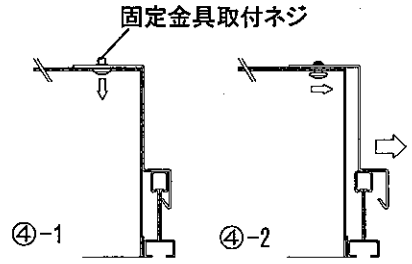
4. ランプ・カバーをセットします。

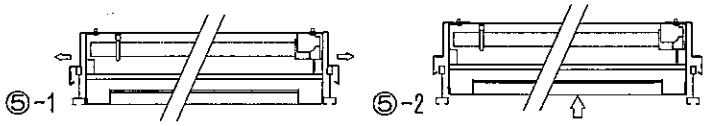
『●取り付け方』「3. ランプをセットします。」「4. カバーをセットします。」の項をご参照ください。

◆器具の取り外し方

①固定金具が隣接する側の天井パネルをはずします。
②ランプ交換の手順に従い、ランプをはずします。
③電源線を外します。
※『●取り付け方』「2. 電源線を接続します。」の項をご参照ください。
④ランプ先端脇およびソケット横にある固定金具取付ネジを緩め、固定金具をスライドし爪をTバーから外して下さい。
⑤4箇所の爪をTバーから外し、本体を真直ぐに押し上げてTバーから本体を外して下さい。

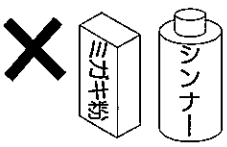






◆お手入れのしかた

器具本体：1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



■こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない。	ランプは確実にセットされていますか。 ランプが切れていませんか。新しいランプと交換してみてください。
ランプがすぐ切れてしまう。	天井内の断熱材・遮音材は器具から離して設置されていますか。 （この器具は断熱材・遮音材で覆っての使用はできません。）
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を充分拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。